

深谷市の紹介



深谷市は、埼玉県北西部に位置し、東京から電車で約1時間半の距離にあり、電車を降りると赤レンガ調の深谷駅や渋沢栄一からくり時計が出迎えてくれます。

「近代日本経済の父」と呼ばれ、新一万円札の肖像に決まった渋沢栄一は、この深谷市で生まれ育ちました。市内には、渋沢栄一記念館をはじめ、旧渋沢邸「中の家」や誠之堂・清風亭など、渋沢栄一の足跡をたどることが出来る場所が数多く残されており、平成29年9月には、上皇上皇后両陛下が御訪問されるなど、歴史的にも貴重な建物となっています。

また、深谷市は深谷ねぎをはじめとする野菜や、深谷牛などの農畜産物の生産が盛んであるとともに、ユリやチューリップなどの花卉栽培も盛んです。

さらに、渋沢栄一が好んで食べた煮ぼうとうやお漬物、日本酒、深谷瓦など、長い歴史とともに培われてきた伝統の味と技が受け継がれるまちです。



郷土の偉人

渋沢栄一

顕彰

継承

プロジェクト



深谷市企業版ふるさと納税

企業版ふるさと納税とは

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）とは、企業が寄附を通じて、地方公共団体の行う地方創生の取組を応援した場合に、税制上の優遇を受けられる仕組みです。

最大で寄附額の約6割が軽減され、実質的な企業の負担を約4割まで圧縮することができます。



※企業が地方公共団体に寄附した場合は、その全額が損金算入されるため、寄附額の約3割（法人実効税率）相当額の税の軽減効果があります。

寄附のご検討にあたって

- 1 企業イメージの向上に貢献します
市ホームページなどを通じて、寄附をいただいた企業を紹介し、地方創生の取組を積極的に支援する企業という点をPRできます。
- 2 税負担の軽減効果が従来の寄附の2倍になります
現行の損金算入措置（約3割）と併せて寄附額の6割に相当する額が軽減されます。
- 3 寄附は10万円から可能です
1回あたり10万円から寄附が出来るため、利用しやすい制度です。

問い合わせ先

深谷市役所 企画財政部 企画課
〒366-8501 埼玉県深谷市仲町 11-1
TEL:048-574-8096(直通) FAX:048-574-6665
E-mail:plankika@city.fukaya.saitama.jp



「郷土の偉人渋沢栄一顕彰×継承プロジェクト」は、近年、深谷市出身の渋沢栄一への関心が高まる中、その功績を広く知らしめるとともに、渋沢栄一ゆかりの施設を整備し、観光資源として活用することで、観光客の地域消費の拡大などを促進し、観光振興及び地域の活性化に結び付けるプロジェクトです。

1

旧渋沢邸「中の家」整備活用事業

令和元年度予算
70,000千円



プロジェクトに
かける想い

旧渋沢邸「中の家」
を深谷市の
ランドマークとして
後世に残したい！

主として
推進する取組

近代日本経済の父・
渋沢栄一の生地に
建つ旧渋沢邸「中の家」
の保存・活用

◎具体的な取組

1

旧渋沢邸「中の家」(明治 28 年建築)の耐震改修工事

深谷市が有する貴重な歴史的建造物の保存・活用を図り、後世に残していくための取組として、旧渋沢邸「中の家」の主屋について、地震などの災害発生時に見学者の安全を保つための耐震改修工事を実施します。

また、旧渋沢邸「中の家」主屋の玄関付近だけでなく、新たに主屋室内の見学が出来るように整備を行い、渋沢栄一ゆかりの建物としての魅力をより詳細に体感出来るようにします。



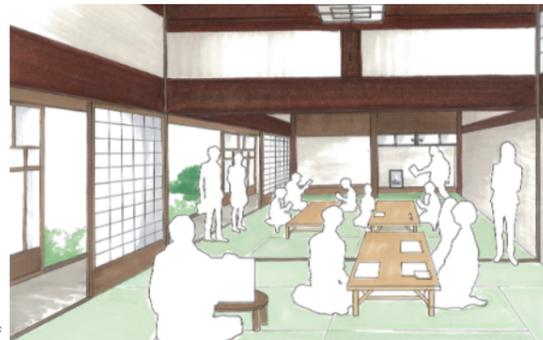
旧渋沢邸「中の家」主屋

2

渋沢栄一が寝泊まりした旧渋沢邸「中の家」上座敷などの保全・公開

渋沢栄一が帰郷した際に寝泊まりした旧渋沢邸「中の家」主屋の上座敷などを整備することにより、室内への立入見学が可能となります。

旧渋沢邸「中の家」を訪れた方に渋沢栄一が過ごした空間を体感してもらうとともに、渋沢栄一にまつわる資料などをまとめたパネルの設置や各種講座などを開催します。



上座敷活用イメージ

旧渋沢邸
「中の家(なかんち)」
とは

渋沢栄一生地(なかんち)に建ち、栄一の妹夫妻によって明治 28 年に上棟された建物。渋沢栄一が帰郷した際に頻りに立ち寄り、寝泊まりした場所であり、通称「中の家(なかんち)」と呼ばれています。

埼玉県指定旧跡、深谷市指定史跡であり、渋沢栄一と深谷市との結びつきを現代に残す貴重な文化財となっています。



旧渋沢邸「中の家」全景

2

渋沢栄一翁顕彰事業

令和元年度予算
17,829千円



プロジェクトに
かける想い

渋沢栄一の功績を
世に広め、
その精神を
後世に伝えたい！

主として
推進する取組

渋沢栄一を
知って、見て、体験する
取組の実施

◎具体的な取組

1

渋沢栄一が設立に尽力した企業や産業に関する企画展覧会の開催



渋沢栄一を
知る

渋沢栄一の功績や精神を多くの方に知ってもらうため、渋沢栄一記念館や旧渋沢邸「中の家」などにおいて、渋沢栄一が明治期から昭和初期にかけて設立に尽力し、日本の資本主義の礎を築いた企業・産業に関する企画展覧会などを開催します。

展示の様子



2

渋沢栄一ゆかりの地を巡るツアーやスタンプラリーの開催



渋沢栄一を
見る

深谷市内に点在する渋沢栄一の関係施設などをはじめ、渋沢栄一にゆかりのある史跡を巡るガイドツアーを実施します。また、ふかやスタンプラリーや埼玉の偉人マップによるオリエンテーリングなどを開催します。

ふかやスタンプラリー



3

渋沢栄一の信条「論語とそろばん」を学ぶ講座や藍染・養蚕体験学習の実施



渋沢栄一を
体験する

渋沢栄一の信条である道徳経済合一説の考えを記した「論語とそろばん」に関して学ぶ講座を、渋沢栄一が実際に寝泊まりした旧渋沢邸「中の家」などで開催します。

また、当時の文化に触れる機会として、藍染や養蚕の体験学習を行うなど、体験を通して、渋沢栄一について学ぶきっかけを創出します。

藍染体験教室



市長
あいさつ

このたび、渋沢栄一翁が新一万円札の肖像に決まり、望外の喜びを感じています。栄一翁の功績やその精神は、現代においてもなお、各方面から注目されています。栄一翁の功績や精神を後世へと引き継いでいくため、深谷市では栄一翁ゆかりの施設の整備・活用を進めるプロジェクトを実施してまいります。多くの方が深谷市を訪れ、栄一翁の精神に触れるとともに、深谷市の魅力を感じていただければ幸いです。プロジェクトの実現に向け、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

深谷市長 小島 進

